

不動産業業況等調査（2024年7月）^{*1}

● 現在の経営状況^{*2}

前回からの変化		
住宅・宅地分譲業	25.0 p	3.1 p ↑
不動産流通業(住宅地)	△ 7.6 p	△ 7.6 p ↓
ビル賃貸業	2.6 p	△ 12.4 p ↓

住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から 3.1p 改善し 25.0p。14期連続のプラス水準。

不動産流通業は前回から 7.6p 悪化し ▲7.6p。2期ぶりのマイナス水準。

ビル賃貸業は前回から 12.4p 悪化し 2.6p。10期連続のプラス水準。

● 3ヶ月後経営状況見通し^{*3}

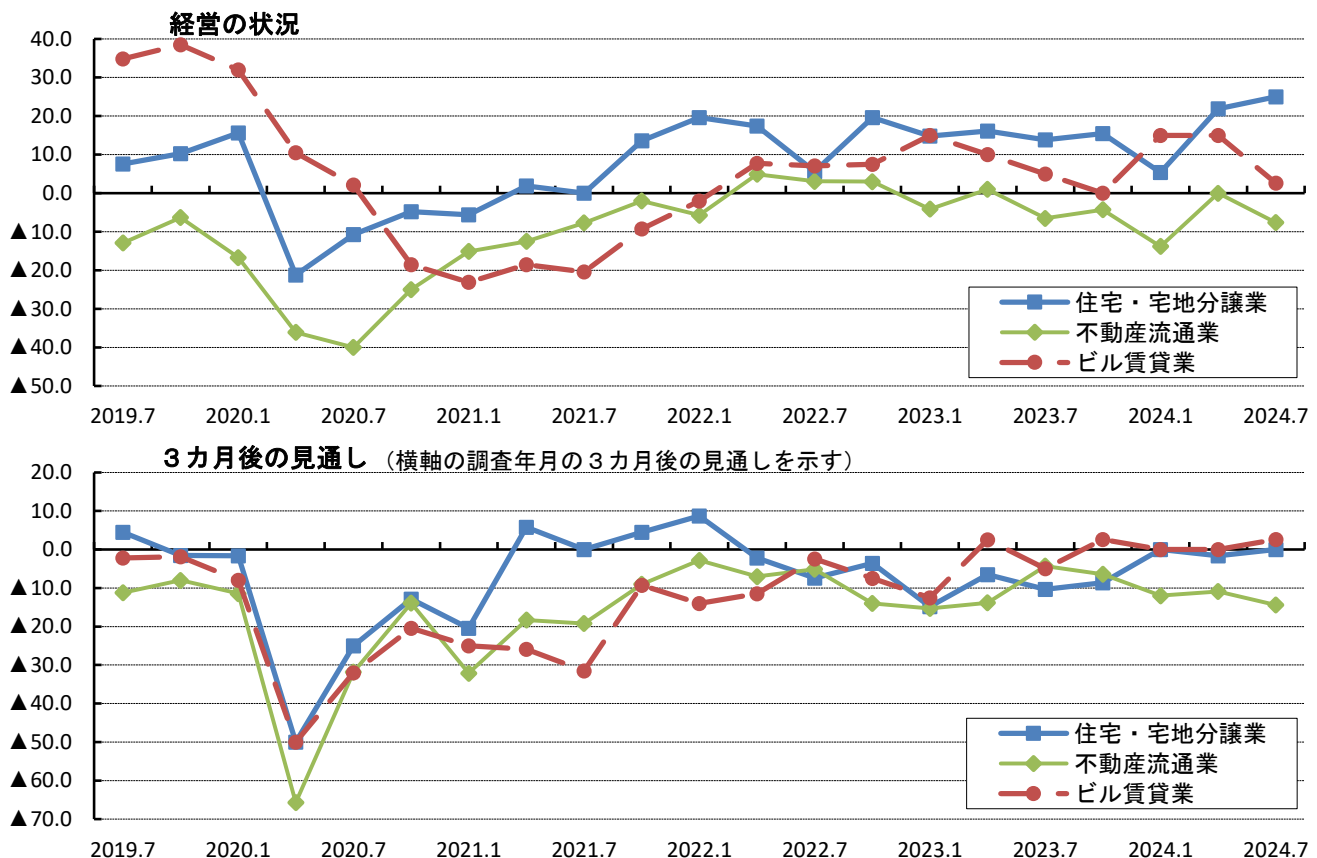
前回からの変化		
住宅・宅地分譲業	0.0 p	1.6 p ↑
不動産流通業(住宅地)	△ 14.4 p	△ 3.5 p ↓
ビル賃貸業	2.6 p	2.6 p ↑

3ヶ月後の見通しは、住宅・宅地分譲業、ビル賃貸業で改善、不動産流通業で悪化。

^{*1} 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

^{*2} 経営の状況＝{（「良い」×2＋「やや良い」）－（「悪い」×2＋「やや悪い」）}÷2÷回答数×100

^{*3} 3ヶ月後の見通し＝{（「良くなる」×2＋「やや良くなる」）－（「悪くなる」×2＋「やや悪くなる」）}÷2÷回答数×100（調査年月の3カ月後の見通しを示す。）



[不動産業業況等調査結果（pdf）ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」

土地総研メールマガジン 第141号「不動産業業況等調査」